



今日の食材 ご存知ですか、フードマイレージ 産地はどこですか

“環境問題”“地球温暖化”――。
わたしたちの生活の中で環境に関係する言葉が、毎日のように新聞やテレビで取り上げられています。わたしたちの環境への関心も高まり、ごみの分別・リサイクル・省エネ活動など地球環境を守るさまざまな取り組みが行われています。そのような取り組みの1つに、フードマイレージがあります。あまり聞き慣れない言葉ですが難しいことではありません。あなたの環境活動に加えてみませんか。

フードマイレージってなに

フードマイレージとは、食べ物がとれた所から食べる所まで運ばれる距離のことです。生産地から食卓までの距離が短い食べ物を食べることで、輸送で発生する二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を少なくして、環境への負荷を小さくする「フードマイルズ」という考え方に基づいています。

例えば、日本人が食べる食パンの小麦は、99%が外国からの輸入です。1番多いのがアメリカの小麦で、日本まで運ばれる距離の合計は1万1277キロです。この輸送の際に出る二酸化炭素は、パン1斤当たり184g。一方、国産の小麦を1番作っている北海道から東京までの距離は、トラックで831キロ。このとき出る二酸化炭素はパン1斤当たり347g。つまり、意識して国産小麦のパンを買うことは、輸入小麦のパンを買うより二酸化炭素を減らしたことになるのです。フードマイレージが高い国ほど、環境に大きな負荷を与えているといえます。日本の人口1人当たりのフードマイレージは、イギリス、ドイツの約5倍、アメリカの約3倍です。食料自給率がわずかに39%の日本の食料供給構造は、長距離

輸送を経た大量の輸入食料に依存しているといえます。

産地地消、旬の食材のすすめ

それでは、フードマイレージを減らすにはどうしたらいいのでしょうか。それは「その土地のものを食べる」いわゆる地産地消を進んで行うことです。海外のもの多きは、国内のものに比べて輸送距離が長くなり二酸化炭素の排出量が多くなるのは前述のとおりです。

「旬のものを食べる」旬を意識することも有効です。今は1年中さまざまな食材を旬や収穫時期などを気にせずに食べることができるとても便利な世の中です。しかしこれは、まさしくフードマイレージの増加の原因なのです。いつでも季節を問わずさまざまな食材が手に入るということは、季節が違う海外からの輸入や、ビニールハウスなどの温室栽培であり、そこで大量の重油や電気が使用されていることが分かります。地産地消や旬を意識することは、その時期・この場所であれば食べられないものを食べるということ。それはおいしくて楽しい暮らしだと思います。環境に優しく、エネルギーの無駄遣いのない地産地消の考え、旬の食材を食べ

さあ始めよう、温暖化対策

地球温暖化は今、この瞬間にも進行しています。今回のテーマ「フードマイレージ」を1人でも多くの皆さんが理解し、実践すれば二酸化炭素の排出を少しでも減らすことができます。「食べて減らすCO2」を意識して買い物しましょう。テレビのコマーシャルで流されているとおり「しっている」だけでは済まされないのです。「明日からのエコ」では間に合わないのです。「しっている」から「している」へ、そして「今日からのエコ」の取り組みを今すぐ始めましょう。

家庭でできる温暖化対策

ガソリン高騰の折、車に関する取り組みを紹介します。

【1日5分のアイドリングストップ】

■長時間停車するときは、エンジンを切りましょう。年間約39キロの二酸化炭素の削減。年間で約1900円の節約

【週2日往復8キロの車の運転をやめる】

■通勤や買い物の際に自転車を利用しましょう。年間約184キロの二酸化炭素の削減。年間で約9200円の節約

地産地消で

地球を冷やそう

岩手県環境アドバイザー
地球のめぐみネットメンバー

若生 和江さん
Wakou Kazue

フードマイレージを減らすための取り組みのなかで、今回わたしが皆さんにお伝えしたいのは地産地消です。地産地消は、皆さんもお分かりのとおり輸送時の二酸化炭素の排出が少なくて済むので温暖化防止になります。地元のものを購入するということは、作った人の顔が見え、新鮮でおいしくて食の安全性の面からも安心です。それだけではありません。奥州市産のものを買うことによって、地元農産物の消費が増え、農業の活性化につながり、農家の人たちも元気になります。地産地消で地球環境に配慮しながら、奥州市の元気にもつなげていければと思っています。

環境教育への取り組み

市は毎年6月の環境月間に、市内の中学1年生を対象に地球温暖化の学習会を行っています。ことしは江刺区の「地球のめぐみネット」の皆さんが講師となり、子どもたちへ楽しく、分かりやすく講演を行いました。



温暖化防止に

チャレンジ

水沢南中学校1年
佐藤 円香さん
Satou Madoka

小学生のころから環境についての勉強をしてきましたが、今回の学習会はわたしたちが地球のためにできることを改めて考えさせられた貴重な時間でした。自分たちの未来、地球の未来のために温暖化防止活動を実践したいと思います。

■問い合わせ＝本庁生活環境課または、各総合支所環境担当課

■各国のフードマイレージの比較

